

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【保健福祉部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定不妊治療に対する助成内容の充実をされたい。また市単独での助成上乘せを実施されたい。 	<p>特定不妊治療につきましては、国の制度に基づいて、市の窓口や医療機関などを通じて制度の周知を図りながら、治療費の助成を行っているところでありますが、国の一億総活躍社会の実現に向けた緊急に実施すべき対策として、平成28年1月に制度改正され、初回助成額の拡充と新たに男性不妊治療も助成対象となったところであり、平成27年度から対応しているところです。市単独の補助金上乘せにつきましては、他の事業との優先度などを総合的に勘案しながら、検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（保健福祉部保健所健康推進課）</p>
<p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童クラブ未設置地区への早期の対応をされたい。 	<p>児童センターの未設置学区につきましては、今後の就学児童数の推移や地元からの要望等を踏まえるとともに、設置にあたりましては、用地の確保や建設費等の財政的な問題、市全体としての公共施設の配置のあり方等を考慮しながら計画的に進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（保健福祉部子育てあんしん課）</p>
<p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通年を通じ待機児童の解消を図られたい。 	<p>平成28年4月1日時点の待機児童数は「ゼロ」となりましたが、特定の保育所等を希望するなどの理由により、保育所に入所できなかった児童は多数おりますし、また、産休や育休明けあるいは転入などに伴い、年度途中からの保育所の利用希望も増える傾向がありますので、引き続き保育所の整備等を進め、年間を通じた待機児童の解消に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（保健福祉部子育てあんしん課）</p>
<p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康寿命の増進策およびインセンティブの導入を図られたい。 	<p>健康寿命の増進策につきましては、平成27年度から向こう10箇年の市民の健康づくりの指針となる「第2次もりおか健康21プラン」の中で、健康づくりの重点項目として「健診受診率を高めるための健康づくり情報の提供」「食習慣の見直しによるスマートライフの推進」「毎日プラス10分運動の推進」を掲げ、各種施策に取り組むことにより、健康寿命の延伸を図ることとしております。</p> <p>また、インセンティブの導入につきましては、市民の皆様の健康づくりを応援する新しい手法として、健康づくりの取組をポイント化し、そのポイントで買物できるような仕組みを検討しているところであり、先進事例を参考に、平成29年度事業実施に向け関係課と</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険料の値上げを押さえられたい。 	<p>調整を行っているところです。</p> <p style="text-align: right;">（保健福祉部保健所健康推進課）</p> <p>平成27年度から29年度までを計画期間とする第6期介護保険事業計画においては、保険料を、市の介護給付費準備基金の取り崩しにより、保険料の引き上げの抑制を図りました。また、所得の低い方の負担の軽減を図るため、保険料段階2段階と4段階の料率を軽減したほか、公費による保険料軽減強化の仕組みが制度化されたことにより、第1段階の料率を軽減したところであります。</p> <p>本年11月には、全国市長会を通じて、被保険者の保険料負担が過重とならないよう国庫負担割合の引き上げを要請したところであり、今後においても、引き続き要望してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（保健福祉部介護保険課）</p>
<p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活保護の適正な執行をされたい。自立支援の強化とあわせて、不正受給対策を強化されたい。 	<p>生活保護の実施については、福祉事務所としての組織的な対応と、保護の受給要件の的確な把握や世帯の生活実態の把握を徹底しているほか、関係機関との連携強化や研修等を通じた査察指導機能及びケースワーク技術の向上により、適正な実施に努めているところであります。</p> <p>また、国や県による生活保護法施行事務監査が毎年度実施されており、監査での指導等に対する事務改善により、適正かつ円滑に生活保護事務を執行しているところであります。</p> <p>被保護世帯の自立支援の強化策としては、平成17年度から公共職業安定所と連携した就労支援プログラムによる被保護世帯の早期自立に向けた組織的な取組を開始し、21年度から稼働能力活用プログラムとして、就労支援相談員による求職活動支援を実施するとともに、23年度から職場体験事業・ボランティア体験事業を追加する形で、段階的な就労支援制度を被保護者のニーズに合わせて支援することにより、就労意欲の喚起と就労の実現化を図ってきており、平成25年10月からは福祉事務所内にハローワーク盛岡就労支援コーナーを併設し、組織的な取組の強化を図ってきたところであります。</p> <p>なお、27年度からは生活保護法の一部改正により、法定実施事業として、引き続き被保護世帯の早期の経済的自立支援に努めているところであります。</p> <p>不正受給対策としては、保護開始時に「保護のしおり」を交付し、権利・義務の説明を十分に行っており、継続ケースに対しては、毎年度、課税状況調査を行っているほか、年</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 6</p> <p>・ 生活困窮者自立支援事業の就労準備や家計相談等支援事業を実施されたい。また、民間団体と連携し、学習支援事業を初めとした子どもの貧困対策を強化されたい。</p>	<p>に2回、権利・義務や不正受給防止に関するリーフレットを全保護世帯に送付するとともに、必要な人には確実に保護を実施する生活保護制度の基本的な考え方を維持しつつ、今後とも当該制度が国民の信頼に応えられるよう、法令や実施要領等に基づき、適正な保護を実施してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（保健福祉部生活福祉第一課・第二課）</p> <p>「就労準備支援事業」については、平成28年度から事業実施しておりますが、家計相談支援事業についても、家計管理能力の向上を必要とする方に生活再建支援を行うため、事業実施に向け予算確保に努めてまいります。</p> <p>また、26年度まで生活保護事業の中で実施してきた就学支援事業については、生活困窮者自立支援制度の「学習支援事業」として引継ぎ、就学支援相談員による就学相談等を継続実施するとともに、生活困窮世帯及び生活保護世帯の中学生を対象として学習の場を提供しており、27年度は31人の利用実績でしたが、28年10月末時点で51人の利用があり、利用者の増加がみられることから、今後とも事業の充実を図ってまいります。</p> <p>子どもの貧困対策につきましては、現在、岩手県立大学とすすめている、共同研究の成果も踏まえ、推進を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">（保健福祉部生活福祉第一課・第二課・子ども未来課）</p>
<p style="text-align: right;">P 6</p> <p>・ 児童虐待に対する市民への啓発を強化して頂きたい。また、受胎時からの切れ目ない支援を実施する体制を作って頂きたい。</p>	<p>児童虐待に対する市民への周知につきましては、11月の児童虐待防止推進月間を広報「もりおか」に掲載するとともに、保育園や幼稚園、小中学校、各関係施設にポスターやチラシを配布し、周知に努めているところであります。また、保育所や幼稚園、学校の職員を対象に研修会を開催し、児童虐待への知識を深める機会としているほか、地域の見守りを行っております民生委員の研修会においても啓発活動を行っております。これらの活動を継続するとともに、他都市の状況を参考に、啓発の強化に取り組んでまいります。</p> <p>また、妊娠期から子育て期にわたるまでの保健や育児に関する保護者の悩みに対して、専門的知見から総合的相談支援を提供するため、平成28年4月、保健所1階に、保健師、助産師、社会福祉士を配置した子育て世代包括支援センターを開所し、児童虐待の早期発見、早期対応する体制を整備いたしました。</p> <p>今後、子育て世代包括支援センターを活用し、各機関と連携して切れ目ない支援体制を強化してまいります。</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護施設の増設，定員増を前倒しで進められたい。空き施設などのあっせんなど他の部署との連携を取られたい。 	<p style="text-align: right;">(保健福祉部子ども未来課)</p> <p>平成27年度から29年度を計画期間とする第6期介護保険事業計画においては，団塊の世代が75歳となる平成37年度を見据え，高齢者の在宅生活支援の居宅サービスの充実を図りつつも，緊急に対応が必要な入所待機者の状況を踏まえ，特別養護老人ホーム180床及び地域密着型の特別養護老人ホーム29床，老人保健施設60床，認知症高齢者グループホーム63床を整備することとしました。平成29年度は，特別養護老人ホーム90床を整備する予定であり，入所待機者の解消につなげてまいりたいと存じます。</p> <p>増設や定員増を前倒しで進めることについては，介護給付費に影響するものであり，難しいものと考えているところでありご理解をいただきたいと存じます。</p> <p>また，平成30年度以降の施設整備につきましては，平成29年度に実施する第7期介護保険事業計画の策定の中で検討することとしており，入所待機者の推移を注視しながら，整備量を決定することとしております。</p> <p>空き施設などのあっせんについては，空き店舗等の情報について商店街等と連携し状況把握に努め，適宜に情報を提供してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(保健福祉部介護保険課・商工観光部経済企画課)</p>
<p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者が地域で暮らせるよう仕組みづくりを講じられたい。特に、障がい者の高齢化に対して、施設設備等の計画を明確にすること。 	<p>障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らせるように居住支援機能と地域支援機能の一体的な拠点整備については，平成27年度から実施されている盛岡市障がい福祉実施計画において，1箇所整備することとしており，平成29年度は，その実現を目指して取り組んでまいります。</p> <p>福祉施設に入所している方の地域移行については，グループホームやアパート，一般住宅等地域での生活を目指し，特にグループホームについては地域移行の有効な受け皿であると認識しており，毎年2ホーム程度の新設を見込んでおります。</p> <p>特に，障がい者の高齢化に対する施設整備については，当事者団体や自立支援協議会等の意見を聞き，事業者等にも情報提供しながら，地域で安心して暮らしていただくための整備を目指してまいります。</p> <p>また，地域包括支援センター等他機関との連携により支援のネットワークを構築し，高齢化問題や介護保険への移行について切れ目のない支援を行う仕組みを強化するよう取り組んでまいります。</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 6</p> <p>・ 難病患者に対する各種支援を講じられたい。また癌患者への就労支援を御検討いただきたい。</p>	<p style="text-align: right;">(保健福祉部障がい福祉課)</p> <p>平成27年1月に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、医療費助成の対象疾患が現在306疾患となっております。こうした制度利用に係る周知徹底を図るとともに、患者及び家族が、正しく病気を理解し、療養上の不安を解消して安心した療養生活を送ることができるよう、専門医による医療講演や個別相談、当事者同士の情報交換の場として「医療講演・医療相談会」を開催しております。また、保健予防課に療養上の相談窓口も開設しており、保健師が随時相談をお受けしております。</p> <p>また、「難病医療コーディネーター」（県が岩手医大に委託）と連携した在宅人工呼吸器装着者への定期訪問や、地域の医療・福祉関係機関の連携強化を図るため「在宅難病患者支援事業連絡会」を開催しております。</p> <p>今年度は、岩手県難病医療連絡協議会において、難病患者を支援する方々に向けた「難病支援サービスガイド」を作成しております。</p> <p>更には、平成25年4月の「障害者総合支援法」の施行により、新たに難病患者を障がい福祉サービスの対象としております。平成27年7月には対象疾病が332疾病へ拡大され、さらに障害福祉サービス（介護給付・訓練等給付）、補装具（車いすや歩行器などの購入・修理に必要な費用の支給）、日常生活用具給付などの地域生活支援事業のサービスが利用できることとなっており、徐々に利用者が増えきていることから、今後も関係機関や当事者団体等の協力をいただきながら、周知を図ってまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(保健福祉部保健所保健予防課・保健福祉部障がい福祉課)</p> <p>※ 後段は、商工観光部で回答</p>
<p style="text-align: right;">P 6</p> <p>・ 子ども未来基金の周知を積極的に行って頂きたい。</p>	<p>子ども未来基金につきましては、本年9月に補助対象事業の公募及び公開審査を行い、子どもの居場所づくり事業など6件に対し補助決定したところです。</p> <p>今後、より多くの市民、団体に関心を持っていただくため、子ども未来基金を活用した事業の成果を公表することで、次の事業提案に結び付けていくとともに、周知チラシ等を作成することにより、子ども未来基金への寄附についても、積極的に周知を図ってまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(保健福祉部子ども未来課)</p>